



外来・手術

看護師の立場から

**JCHO東京高輪病院
看護師 大森真久**

膝は痛いけど
病院へ行く必要があるかしら・・・



そんな方も

安心してください

東京高輪病院では、毎日

9時～15時まで

整形外科を受診することができます



東京高輪病院では

膝の専門医による
診察・手術を受ける事ができます

- ・前十字靭帯再建術
- ・関節鏡下半月板切除術
滑膜切除術
- ・人工膝関節置換術

当院

正面玄関を入っていただいたら!!



ホールの真っ正面!!



そこが

整形外科 外来 です!!



痛みの原因には、 様々な疾患があります

- ・変形性膝関節症
- ・膝関節靭帯損傷
- ・半月板損傷
- ・関節リウマチ
- ・外傷性関節炎

など

気になることがあったら、
当院へお越しく下さい

- なんだか膝が引っかかる
 - 膝がはれている気がする
 - 膝が痛い
- など

整形外科では、総勢

10人の医師



による診療を受ける事ができます



外来で受けられる検査

- ・レントゲン
- ・CTスキャン
- ・MRI
- ・超音波検査



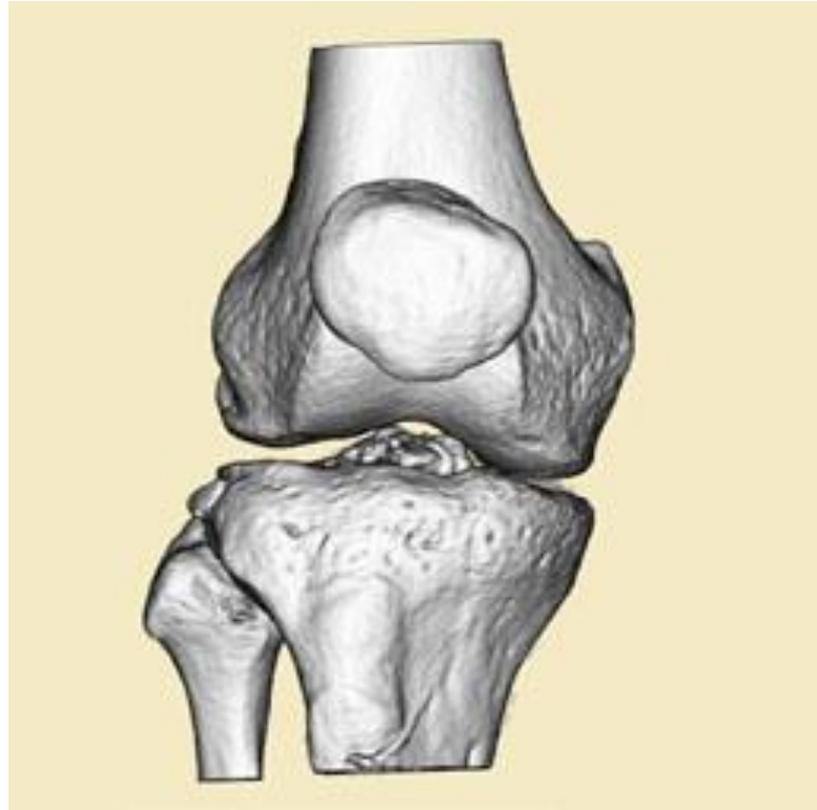
など

外来で受けられる検査



レントゲン

外来で受けられる検査



3次元CTスキャン

外来で受けられる検査



MRI

膝の病気が分かったら

まずは

お薬を内服、湿布を貼付

→ ヒアルロン酸などの注射



→ それでも痛みが続くなら

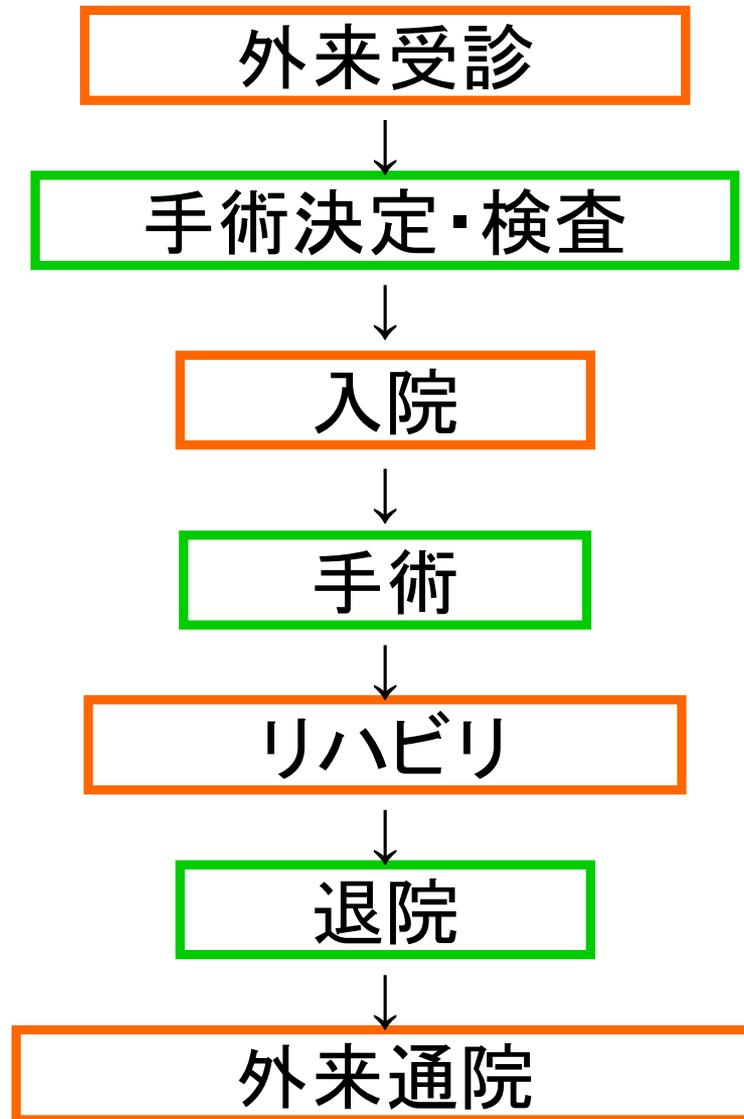
手術を検討

膝の病気が分かったら

膝前十字
靭帯損傷
になった場合

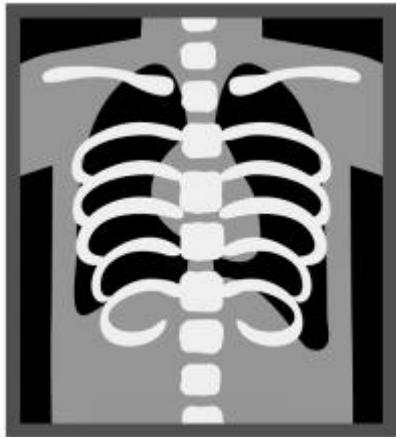


手術決定から退院まで



外来での手術準備

- ・血液検査
- ・レントゲン
- ・心電図
- ・呼吸機能検査
など



入院の手続きへ

入院の日程調整



手術、入院日決定



入院説明を受ける

(④番窓口)



手術の前日に入院





入院当日



病棟の設備など説明
身長、体重測定

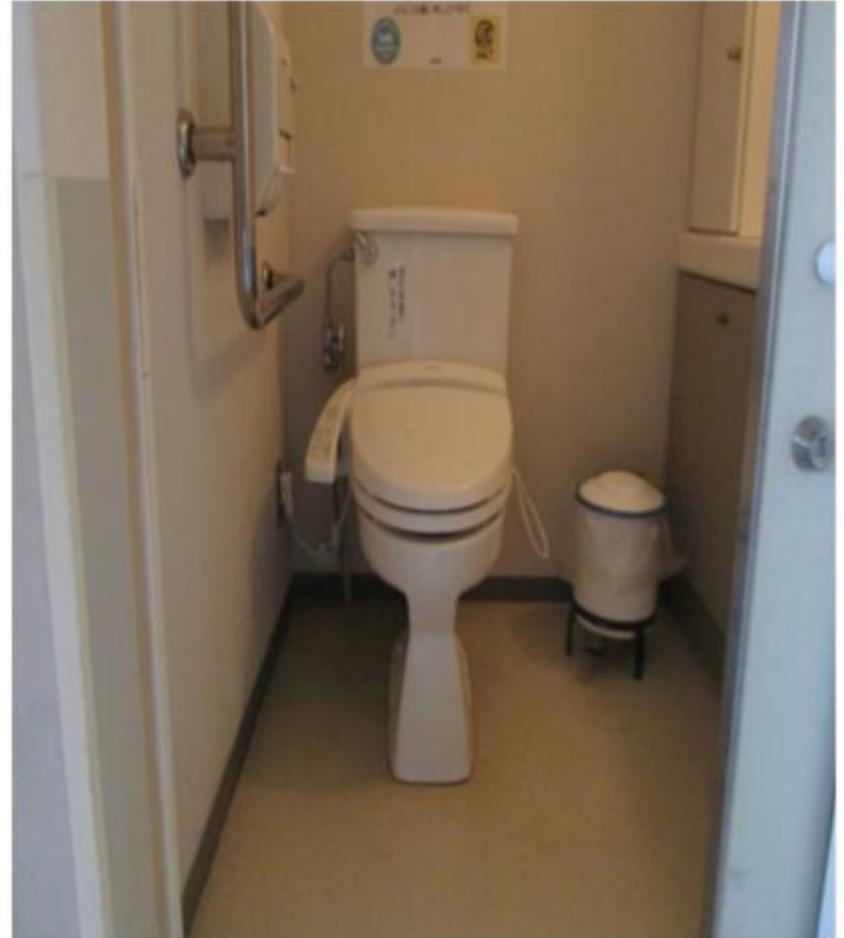
術前オリエンテーション
手術室看護師、麻酔科医師の訪問

整形外科病棟は6階です

ベッド数：40床
個室と4人部屋があります

看護体制 7：1

病室の様子



病棟からの景色



クリニカルパス

クリニカルパスとは、治療するために必要な検査や手術などの一連の予定表のようなものです。

当院でも一貫した治療・看護を行うために使用しています。

クリニカルパス



整形外科で()膝前十字靭帯 再建手術を受けられる()さま

*当科で下記の表に基づいて治療を進めさせていただきます
 *手術後の経過により個人差があります
 *ご不明な点は医師・看護師にお尋ねください

スケジュール表

JCHO東京高輪病院
 ☎ 03-2442-0191

入院曜日	入院日(/)	手術日(/)	術後1日目(/)	術後2日目(/) ～翌日前日	翌日(/)	
目標	手術に対する理解が得られ不安を最小限にして手術にのぞむことができる	<ul style="list-style-type: none"> 術直後 血圧・脈拍・呼吸などの全身状態が安定している 痛みが軽減がなく、痛みのある場合は訴えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 合併症(出血や感染)を起こさず過ごせる 痛みの増強がなく、身体を起こすことができる 食事の手が足り走り進む 	<ul style="list-style-type: none"> 体を積極的に動かすことができる 		
書類	<ul style="list-style-type: none"> 入院診療計画書 手術承認書 麻酔前アンケートを病棟の看護師に見せてください 				退院時に次回の日曜日をご案内します	
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 【ご自宅から入院受付まで】 入院準備中のお薬を袋にまとめてお持ちください 【当院以外のお薬・薬液・説明書・お薬手帳もお忘れなくお持ちください】 【お持ちにならなかったお薬は、薬剤師が検かり確認させていただきます】 【病棟にて】 ・持参薬は手術翌日にお返し取ります(内服については医師または看護師が説明します) ・必要であれば麻酔(午後5時)に下剤をお返ししますので内服してください 	<ul style="list-style-type: none"> 午後後の手術の場合、午前9時から病室を開放します 翌日まで連続で点滴となります 術前1本 術後2～2本 抗生剤点滴(術中・術後) 痛みが強い時は坐薬、注射を使用します 	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬は朝から再開します 抗生剤点滴(朝、夕) 	<ul style="list-style-type: none"> 抗生剤点滴(朝、夕) 術後4日目以降、抗生剤の内服薬があります 	退院処方をお渡しします	
検査			血液検査(採血)を行います	<ul style="list-style-type: none"> 手術後4日目、10日目に採血をします 手術後7日目にレントゲン撮影を行います(その後1週間経過後ごとにレントゲン撮影を行います) 	必要時採血、採尿をします	
処置		手術後は傷口に管が入った状態です	手術部位の処置を行います	<ul style="list-style-type: none"> 手術部位の処置・消毒を行います(月・水・金) 術後3日目に傷口の管を抜きます 	手術部位の処置・消毒を行います	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事は夕食までです、夕食以降は断食です 午後5時以降は水・OG-1を飲むことができます 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前は断食です 水分は当日朝までです(時間が入院時に説明致します) 構え後、お腹が膨らんでいるのを確認できたから飲めます 	<ul style="list-style-type: none"> 断食 			
活動休息	フリー	<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッド上安静です 痛みが治ったり、ベッドから下りたりしないでください 	ベッド上安静です	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2日目までベッド上安静です 2日目から歩行が可能になります(足はつけません) 5日目から坐浴が可能になります(足はつけません) 7日目から手術した足にシニアの荷重が可能です 14日目から手術した足に全荷重が可能です ※半月板縫合を行った方は、81日目からシニア荷重、88日目から全荷重になります 		
排泄	フリー	手術室でお小水の管を入れます	お小水の管を抜きます	フリー		
入浴	入浴可	手術後入浴不可	看護師が着替えと検温をお手伝いをいたします	医師の許可があればシャワー浴が可能です		
検温	1日1回入院時測定します	術前・術中時、15分・30分、1時間毎に測定します 以後は適宜測定します	1日4回	手術後4日目以降 1日2回	1日1回	
指導	<ul style="list-style-type: none"> 病棟看護師が入院・手術までの説明をします 麻酔師が麻酔について説明をします 手術室看護師が手術室の説明をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・入室の30分前(午後の方は病室の前)までに浴衣に着替えたいしを貸まさせていただきます ・チューブ・バンドを準備してください ・シニア・保下等自身につけたいでください ・靴着・コンタクトレンズ・眼鏡・指輪・時計・カッター及びヘアピース等ははずしてください ・貴重品は衣庫へ入れるか、家族へお返しください 			退院指導	

当院でお渡しするクリニカルパス

クリニカルパス

例えば 手術後の
血液検査 レントゲン は

血液検査は手術の
1日後 4日後 10日後

レントゲンは手術の
7日後 14日後 21日後

クリニカルパス

例えば 手術後の安静度なら

手術後～2日目	:	症状安静 免荷(足をつけない)
3日目～4日目	:	車椅子 免荷
5日目～6日目	:	両松葉杖 免荷
7日目～13日目	:	1/3荷重
14日目～	:	全荷重

術前オリエンテーション

手術前日に

麻酔科医師から

麻酔の説明

手術室看護師から

手術のながれの説明

があります

説明させていただく内容は

- 手術室へ行くまでの準備
- 手術室に入ってからすること
- 麻酔に関すること
- 手術が終わってから病室に帰るまで
- 心配なことはありませんか？

手術・麻酔に関する心配な事は、
なんでも手術室看護師に
聞いてください!!



手術前日に手術室看護師が病室に伺います

手術前日の準備

・シャワー

出来ない所はお手伝いします

・爪きり

出来ない所はお手伝いします



手術前日の準備

物品の準備



T字パンツ



浴衣

手術当日

浴衣に着替える
ストッキング着用
(下肢静脈血栓予防)

点滴開始
ベッドの上で安静に



手術当日

手術の時間になつたら・・・

歩行、車椅子、
ストレッチャー
いずれかで
2階の手術室へ
行きます



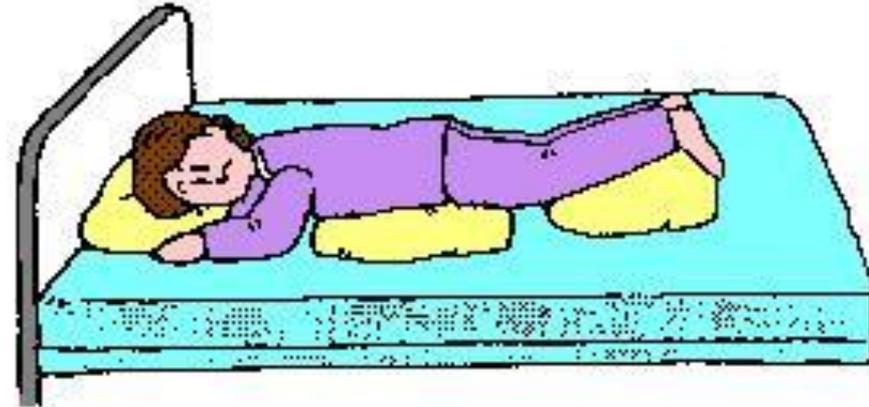
手術室に入ったら



血圧計・心電図など色々なモニター
機器を付けていただきます

特殊な姿勢でも安心

クッションや枕を使って、長時間の特殊な姿勢もお助けします!!



リラックスするために

お好みのジャンルの音楽をかけておくこともできます!!

- クラシック
 - 演歌
 - ジャズ
- 等々



常に多くのスタッフがそばに居ます



整形外科医2名以上

看護師2名以上 麻酔科医1名以上

膝の手術の麻酔方法

- 下半身麻酔（脊椎麻酔）
- 全身麻酔
- 神経ブロック



下半身麻酔とは

背骨と背骨の間から麻酔薬を注射して、下半身の感覚を4～6時間麻痺させます。



全身麻酔とは

お薬で深い眠りについた状態になります。

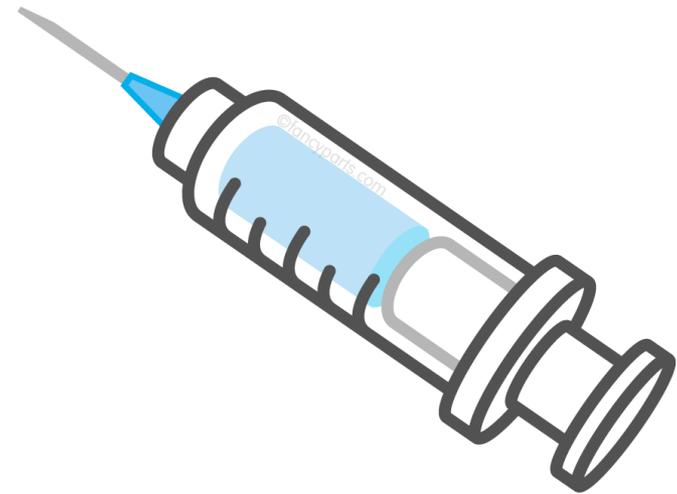
呼吸が弱くなるため、口からチューブを入れて、呼吸を補助します。



神経ブロックとは

神経（大腿神経）に直接麻酔薬を注射して、神経の感覚を麻痺させます。

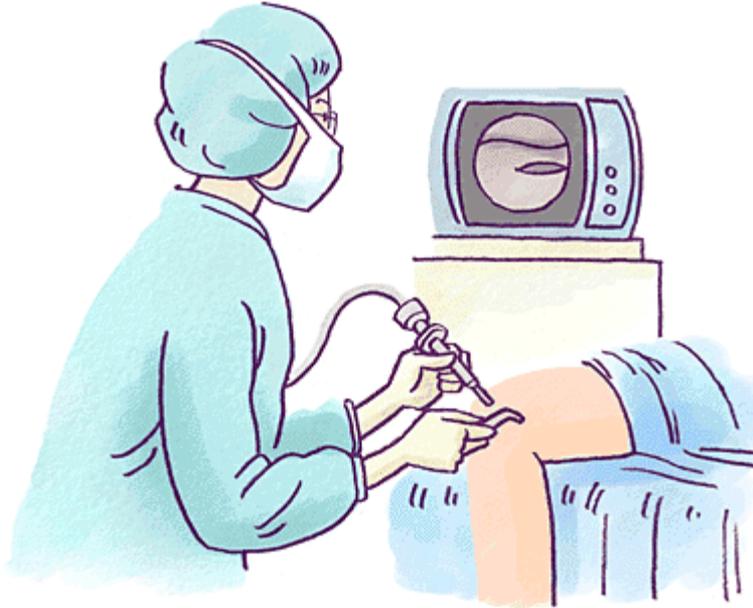
手術直後の痛みを防ぐことができます。



関節鏡手術とは

直径4ミリのスコープで膝の中をのぞきながら
行う手術です。

数箇所の小さな傷で手術が可能です。

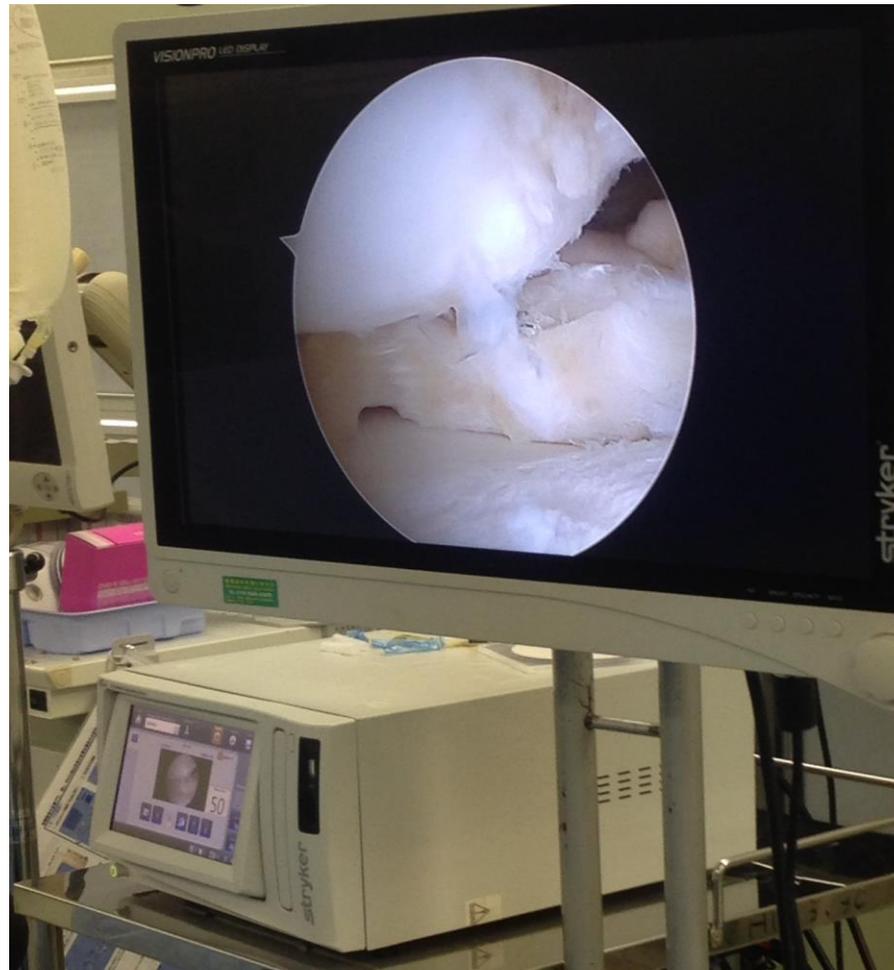


実際の膝関節鏡手術



膝の内部をモニター画面を見ながら手術しています

実際の膝関節鏡手術



実際の膝の内部の画像

実際の膝関節鏡手術



実際の手術風景

実際の膝関節鏡手術



膝前十字靭帯再建術

膝にある大腿骨と脛骨を結ぶ強力な靭帯「前十字靭帯」が損傷してしまった場合に、自分の組織を使ってつなぎなおす手術です。

膝前十十字靭帯再建術



筋肉の膜で作った代用前十十字靭帯

2018年度は関節鏡手術48件
前十字靭帯再建術を22件



2019年度はすでに
関節鏡手術18件、
前十字靭帯再建術

9件を
行っています

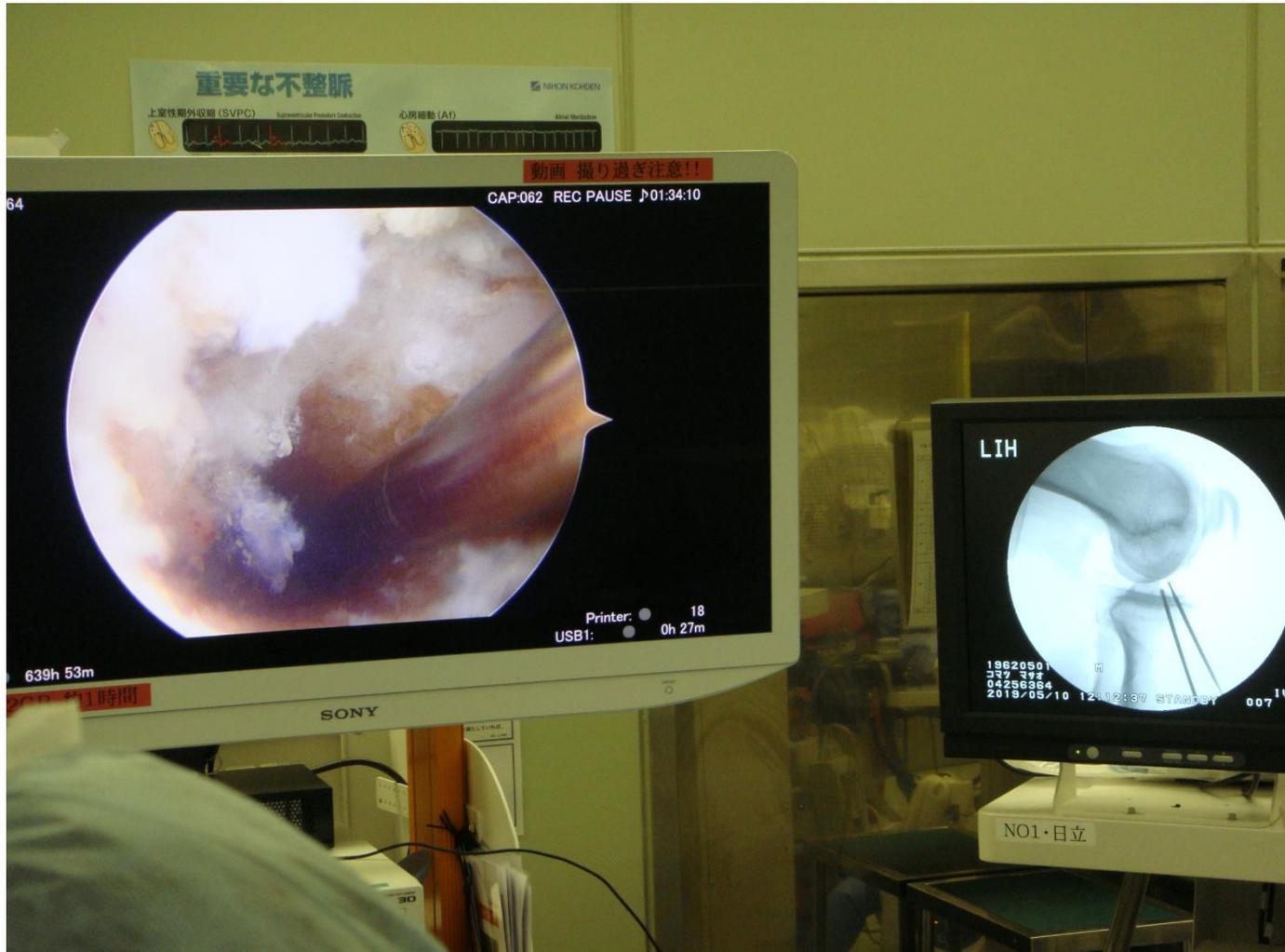


膝前十字靭帯再建術



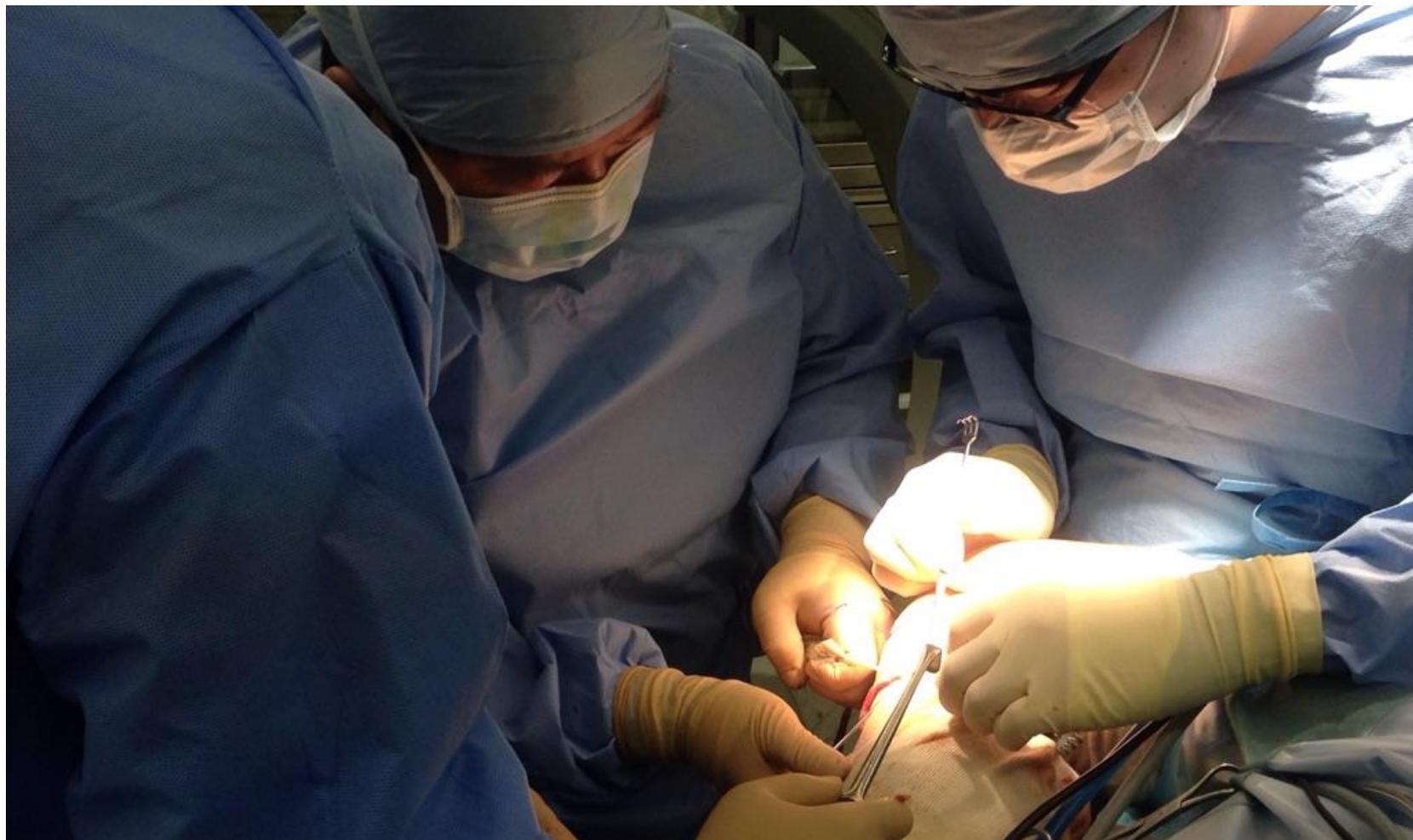
実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



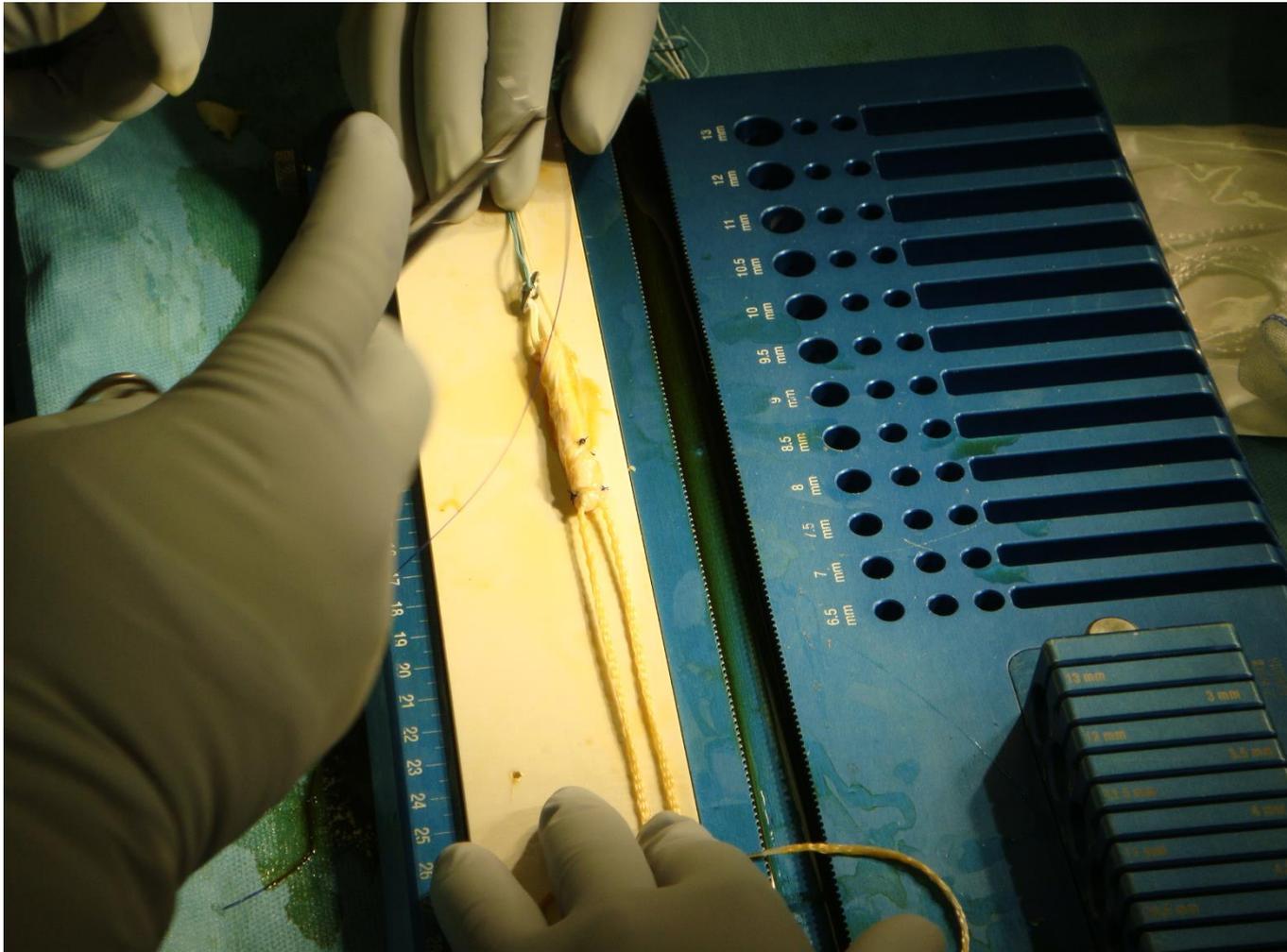
実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



作成した靭帯

膝前十字靭帯再建術



実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



実際の手術風景

膝前十字靭帯再建術



小さな傷で手術が可能です

膝前十字靭帯再建術



小さな傷で手術が可能です

手術が終わり目が覚めたら

移動式ストレッチャーで病室に
帰り絶対安静になります



手術後の観察

麻酔から覚めた状態で、
お部屋に戻ります。

○酸素マスク

○点滴

○尿の管

（尿道カテーテル）

○血を出すための管

（ドレーン）

→手術1日目ころに抜く



手術の翌日は

- 食事再開
- 朝、血を出すための管を抜き、傷の消毒
(回診)
- 検温、体拭き、心電図が外れる
- ご本人と相談し尿の管を抜く
- リハビリ開始



手術後のリハビリ

○手術翌日からリハビリ室で
リハビリ開始

○病棟ではCPM
(膝の屈曲・伸展訓練)



CPM中

手術後のリハビリ



術後 膝用硬性装具 (playbee)

手術後のリハビリ

○その後は
痛み、リハビリの進み具合で
歩行器
↓
杖
↓
フリーハンド
(杖なし)



退院に向けて

○医師と相談の上、退院

○リハビリや退院の準備が
必要な方は

地域包括ケア病棟に転棟

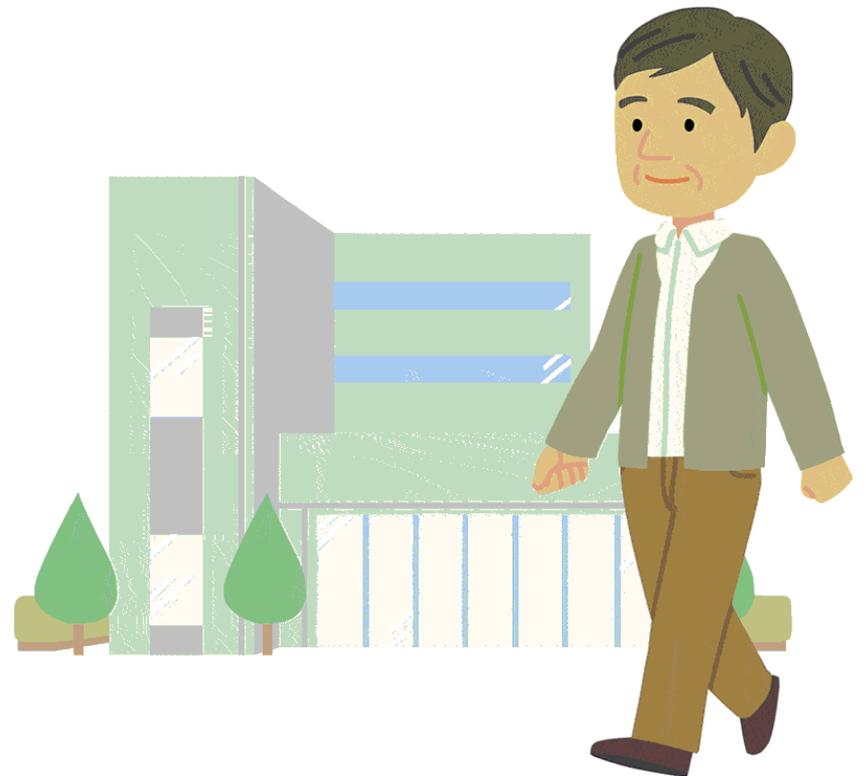


地域包括ケア病棟

入院治療を継続しながらご自宅や施設に向け退院の準備をするための病棟です。

入院中はチームで在宅復帰支援を行います。(60日間)

退院後は定期通院



おわりに

膝が痛くて悩むなら、
是非当院でご相談ください。



ご清聴

ありがとうございました